

子どもの体力と視力について

R6.8 教育総務課

4年に及んだ新型コロナの感染拡大により、子どもたちのライフスタイルに変化が生じ、学校での活動にも様々な制約があった中、子どもの体力や視力の低下など、健康への影響が危惧されています。各調査の結果から現在の状況などを確認します。

1 身体と視力 「長野県学校保健統計調査の結果から」（県教委 保健厚生課資料より）

この調査は、通常4～6月頃実施、7月頃公表、コロナ禍を受け通年で調査、公表

【身長と体重】

市内児童生徒の身長、体重は、全国平均や県平均よりも若干低いものの、ほぼ平均値

R5 小学校 低学年平均 身長 122.1 cm（県 122.2） 体重 23.9 kg（県 24.3）

高学年平均 身長 139.9 cm（県 140.1） 体重 34.8 kg（県 35.4）

中学校 全学年平均 身長 156.7 cm（県 157.0） 体重 48.3 kg（県 48.9）

【視力異常】

市内児童生徒の視力に関し、裸眼 1.0 未満等の視力異常者は、小学生は R4 が過去最高、中学生は R5 が過去最高の割合となり、小中学校とも県平均より高い割合となっている。

※視力異常：裸眼視力 1.0 未満及びコンタクト使用者の計

R5 調査から、小学校は約 40%、中学校は約 63%の児童生徒の視力に異常が見られた。

10年前（H26）と比べると、小中学校ともに大きく増加している。

【小中学校の視力異常者の割合の推移（在籍比）】

視力異常者	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
小学校	29.3	30.8	34.9	36.2	37.1	36.8	40.6	39.9	42.3	40.1
中学校	44.9	43.6	56.7	58.2	58.1	55.8	59.5	57.6	60.4	63.0

（長野県平均 R4 小学校 35.1、中学校 61.7）

2 子どもの体力 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(概要)」から（スポーツ庁）

この調査は、全国の国公立の小学校5年生、中学2年生対象（約 191 万人）の悉皆調査
昨年度の調査は 4 月～7 月に実施、12 月に調査結果（概要）が公表された。

- ・握力、上体起こし、体前屈、反復横跳び、走力2種、立幅とび、ボール投げの8項目
- ・全国体力合計点では R 元～R4 の間、小中男女とも低下が見られた。（R2 は調査中止）
- ・R5調査から、前年度からは回復基調であるが、コロナ以前の水準には戻っていない。
- ・県内、市内の児童生徒に関しても、国と同様の回復傾向が見られた。

【全国 児童生徒の体力合計点の推移】 ※小学校5年生と中学2年生の調査結果

体力合計点	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3	R4	R5
小学校 男子	53.9	53.8	53.9	54.2	54.2	53.6	52.5	52.3	52.6
小学校 女子	55.0	55.2	55.5	55.7	55.9	55.6	54.7	54.3	54.3
中学校 男子	41.6	41.8	42.0	42.0	42.2	41.6	41.1	40.9	41.2
中学校 女子	48.6	49.0	49.4	49.8	50.4	50.0	48.4	47.3	47.1